



▲満開の桜の下、ハチ公像を前に行われた慰霊祭

今年も ハチ公慰霊祭

が開催されました

🐾 ハチ公の物語を
渋谷から世界へ

渋谷のシンボル・忠犬ハチ公の慰霊祭は、桜の季節に合わせて毎年4月8日に行われ、今年で82回目を迎えました。式典では、主催者・忠犬ハチ公銅像維持会会長からのあいさつ、金王八幡神社宮司による慰霊の儀式が行われた後、ハチ公像に花輪がかけられました。長谷部区長は「国際都市として発展する渋谷から、世界の人にハチ公の物語を伝え、守っていききたい」と話し、出席者や見学していた人たちはハチ公と上野博士が紡いだ絆の物語に思いをはせていました。



🐾 ハチ公像をモデルに
写生会が初開催

慰霊祭に続いて「忠犬ハチ公写生会」が行われました。親子連れなど10人が参加し、講師のアドバイスを受けながら、思い思いにハチ公の姿を描いていました。普段は人々に囲まれているハチ公をゆっくりと見ることで、貴重な時間となったようでした。

間近で見ると力強い足が印象的でした。

家族で参加しました。子どもたちも楽しんでスケッチしました！



🐾 ハチ公ヒストリー 🐾

上野博士の帰りを7年半待ち続けた「忠犬」

「ハチ公像」のモデルになったハチは、旧東京帝国大学教授の上野英三郎博士に飼われていた秋田犬です。毎日、博士を送り迎えしたハチ公は、博士が突然亡くなってからもそのぬくもりを忘れられず、7年半も駅で帰りを待ち続けました。その美談を後世に残そうと、昭和9年に銅像が建てられ、今では多くの人々に待ち合わせの場所として親しまれています。



▶ 生前の忠犬ハチ公
(写真提供：郷土博物館・文学館)



主催者の声
ハチ公は日本のシンボルでもあります。ハチ公が体現した敬愛の精神を、世界中の人に大切にしてほしいですね。

忠犬ハチ公銅像維持会会長
上條清文さん

問 広報コミュニケーション課 広報広聴係 (☎ 3463-1287 ☎ 5458-4920)
忠犬ハチ公銅像維持会(渋谷区観光協会内) (☎ 3462-8311)